

令和4年度 公益財団法人ひばり事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1 総括

- ① 公益財団法人として法令遵守の徹底と社会的使命の役割・責任を自覚し、公益・収益の事業バランスを保ち事業推進に取り組むとともに、高島市の施設を管理運営する指定管理者として、安全かつ快適な施設の提供に心掛け、利用者への更なるサービス向上に努めた。
- ② 感染者が急拡大した新型コロナウイルス感染症第7波が夏休み、第8波が年末から年明けに掛けて拡大したが、いずれも行動制限の要請もなく通常営業できたことで、予定されていた事業や大会、イベントも開催され、新型コロナウイルスによる影響は最小限に抑えられた。
- ③ 経営面においては、燃料価格の高騰により前年度と比べ電気料金は約643万円(60%)増、LPガス代は約142万円(15%)増と大幅な負担増となったことに加え、物価の上昇が拍車をかけ、これまでから経費削減に取り組んでいるものの非常に厳しい経営を強いられた年度であった。
- ④ 新型コロナウイルス感染防止対策は、行政機関からの指導を基に徹底した対策を講じて営業を行った。

(1) 高島市今津総合運動公園

- ① ゴールデンウィークには3年ぶりとなる少年サッカー大会が開催されたほか、コロナ禍で自粛を余儀なくされていた高校部活動のスポーツ合宿や大学のサークル活動等も徐々に行われるようになり、コロナ前の令和元年度と比較して収入・来園者数とも9割近く回復した。
- ② 8月7日に「自衛隊フェスタ50:70」イベントが開催され、ブルーインパルス の展示飛行が行われたこともあり、メイン会場の当運動公園には朝早くから長蛇の列ができ約15,000人が来園された。また、会場内において当法人施設のPRうちわ3,000枚を来園者に手渡したが、大変好評で開始2時間で配布終了となった。
- ③ 9月25日に「TOYOTAラリーチャレンジびわ湖高島」が開催され自動車ファン約2,500人が来園された。
- ④ 本年度は積雪量も比較的少なく屋外施設が平年より早い時期から利用可能となり、テニスコートやグラウンド、スタジアムが予定どおり利用できた。
- ⑤ 高島市において、屋外テニスコート4面のナイター照明LED化、サンルーフ照明点灯制御盤の交換、温水プール熱交換機の修繕および芝刈り機の更新が行われた。

(2) 家族旅行村ビラデスト今津

- ① 大学生の新入生歓迎合宿が再開され、「森の交流館」と「コテージ」は5・6月の毎週末満室となったほか、キャンプ場は4月の開村から平日も含め多くのキャンパーで賑わい過去最高の売上となったことで、コロナ前の令和元年度と比較して収入で9割強、来村者数も7割近くまで回復した。
- ② キャンプ場は、シャワーハウスをコイン式化したことで24時間利用可能となり好評を得た。
- ③ 「今こそ滋賀を旅しよう」の観光需要喚起策により、家族連れやグラウンドゴルフ宿泊パックでの利用が回復した。
- ④ 7月中旬ごろから新型コロナウイルス第7波の影響が徐々に始まり、例年利用されているスポーツ少年団の合宿や企業の宿泊予約がキャンセルとなった。
- ⑤ 9月に入ると台風14号、15号が週末立て続けに接近し、キャンプ場のキャンセルが相次いだ。
- ⑥ 10月、11月の紅葉シーズンは天候が安定したことに加え観光需要喚起策もあり、各施設とも多くの利用者で賑わった。

(3) 体験交流センターゆめの

- ① ゴールデンウィークの少年サッカー大会や夏休みに開催された各種大会、自衛隊フェスタ、TOYOTAラリーチャレンジといった大きなイベントの開催により、レストラン利用が増加しコロナ前の令和元年度と比較して収入で7割、入館者数は9割程度回復した。
- ② そば打ち体験は家族連れや少人数のグループが中心で、団体予約がほとんど無く低調に推移し、収入・体験者数ともコロナ前の5割に留まった。
- ③ 夏休みを中心に運動公園で開催された大会参加者の多くは、昼食に「今こそ滋賀を旅しよう」の地域クーポン券を利用された。
- ④ 営業体制は繁忙期を除き土日祝は通常営業、平日は予約営業とした。

2 健康づくり・スポーツ振興事業(公益目的事業1)

- ① 各種教室の開催については、これまでと同様に各スポーツ団体が示す感染予防ガイドラインを遵守して実施した。
- ② 施設利用者および自主事業参加者とも、入館時に検温による健康管理をお願いした。
- ③ 温水プールのスタッフ4名が新型コロナウイルスに感染し自宅待機となったことで、シフト調整が困難となり8月16日から20日までの5日間夜間営業を休止した。
- ④ 従来の新聞折り込みや館内掲示に加え、施設のPRや各種教室の募集等を幅広くホームペ

ージやSNSを活用して情報発信したほか、保護者との情報の共有、伝達にも有効利用した。

(1) スクール・教室等開催事業

スイミングスクール

- ① 競泳コース所属の受講生が、滋賀県選手権水泳競技大会および全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会等多くの大会に出場し好成績を収めた。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大の影響による学級閉鎖で受講生の欠席が相次ぐとともに、スタッフの感染ではスクールが開講できず期日を延ばして対応した。
- ③ スイミングスクール受講生は3月末で268名が在籍となり、目標としている300名には届かなかった。
- ④ 学校水泳は、マキノ西小学校、朽木西小学校およびマキノ中学校から指導依頼があり当施設で実施した。
- ⑤ 一般社団法人日本スイミングクラブ協会認定の泳力資格級は144名が合格された。

コース	対象	実施回数	延べ参加人数
本科（幼児・ジュニア）	4歳～中学生	657回	10,170名
競泳	小中学生	281回	2,772名
成人	18歳以上	208回	529名
プライベート	小学生以上	41回	13名
グループ	小学生以上	2回	4名
学校水泳教室	小中学生	11回	278名
泳力認定	25m泳げる方	3回	144名

テニススクール

- ① テニスを通じて、各年代に必要な運動を取り入れ効果的な体力づくりに努めた。
- ② 子どもを対象としたクラスでは「テニスの楽しさ」を実感してもらうため、ゲーム形式の練習を多く取り入れた。
- ③ 選手コース所属の受講生が関西地区大会に出場した。

コース	対象	実施回数	延べ参加人数
キッズ	3歳～5歳	48回	76名
シヨート	6歳～8歳	48回	158名
ミディ	8歳～11歳	48回	460名
ジュニア	11歳～15歳	96回	1,020名

コース	対象	実施回数	延べ参加人数
選手	10歳～18歳	192回	764名
グループ	全ての方	25回	80名
シニア	65歳以上	48回	96名
平日初級	18歳以上	38回	76名
土曜日		140回	624名
ナイター			

艇庫・その他事業

- ① トライアスロンコースの受講生2名が2022全国中学校トライアスロン大会に出場した。
- ② 艇庫活動として全11回のカヌー教室を予定していたが、悪天候や新型コロナウイルスの影響で8回の実施となった。
- ③ 市内小学3年生の総合学習で着衣水泳教室を実施した。

事業名	対象	実施回数	参加人数
トライアスロン	小学生	260回	1,060名
マラソン	小学生	39回	221名
カヌー教室	小学生	8回	37名
水に賢い子供を育む年間型プログラム	市内小学生	1回	9名

(2) 健康づくり事業

- ① 健康づくり事業の中でも一番人気のアクアビクス教室では、昨年を上回る1,281名が参加された。
- ② 今津公民館事業の市内小学生を対象とした水泳教室を受託し、所定の今津弘川プールにおいて実施した。
- ③ 高島市介護予防普及啓発事業「元気づくりカレッジ」を受託し、8月から12月の5ヶ月間に15回開講し、延べ124名が参加された。

事業名	対象	実施回数	参加人数
アクアビクス	18歳以上	82回	1,281名
公民館水泳教室（受託）	小学生	5回	100名
元気づくりカレッジ（受託）	65歳以上	15回	124名

事業名	対象	実施回数	参加人数
やさしいヨーガ	18歳以上	42回	261名
アクアエクササイズ		10回	75名
トレーニング講習会		随時	48名
水中歩行		43回	305名
いきいきトレーニング倶楽部	60歳以上	24回	94名

(3) 大会・イベント等開催事業

- ① グラウンドゴルフ大会は当初予定していた10大会全て開催し、毎大会100名を超える参加者があった。またゲートボール大会においては、チーム数を20チーム程度までに制限して開催していたが、新型コロナウイルスの感染が落ち着き出した9月大会は30チームまで増やして実施することができた。
- ② スイミングスクールの無料体験イベントは年3回開催し、こども園へのチラシの配布やSNSでの情報発信効果もあり多数の申し込みがあった。
- ③ 9月23日の「テニスの日」に、サンルーフでテニススクールの無料体験会を実施し32名が参加された。

事業名	対象	実施回数	参加人数
グラウンドゴルフ月例会	18歳以上	10回	1,100名
ゲートボール大会		4回	378名
スイミングスクール無料体験	4歳から小学3年生	3回	70名
テニススクール無料体験	小中学生	1回	32名

3 ふるさと・自然体験観察事業(公益目的事業2)

(1) 自然体験・観察事業

- ① 毎年恒例となっている「オオクワガタの飼育体験」「星空観察会」ともに開催し、特に星空観察会は毎回事前予約で満員となった。
- ② 自然体験事業の「世界の昆虫展とカブトムシの里」は好評によりスペースを拡張し、自然木を移植してよりリアルなカブトムシの手づかみ空間を提供した。また、普段では見られない外国産のカブトムシとの写真撮影会を行い、多くの家族連れが参加された。

事業名	対象	実施回数	参加人数
オオクワガタを育てよう	全ての方	2回	59名
星空観察会		5回	102名
世界の昆虫展とカブトムシの里		27回	1,661名

(2) ふるさと体験等レクリエーション事業

- ① 大学のサークル等で参加される方が徐々に増え、特にはんごう炊爨体験が人気で好評だった。
- ② そば打ち体験は高島市周遊観光アプリおよび読売新聞オンラインクーポンサイトに掲載して頂くとともに、本年度もインターネットでの予約(じゃらん・アクティビティジャパン)を行った。
- ③ 森の交流館の芝生広場に子ども用の木製ブランコと滑り台を各1基増設した。

事業名	対象	実施回数	参加人数
春山開き	全ての方	1回	16名
はんごう炊爨		17回	712名
宝探し体験		4回	86名
ウォーターバトル体験		5回	105名
絶叫ブランコ・絶景遊歩道		随時	17,999名
そば打ち体験		随時	661名

4 施設利用者への利便提供事業(収益事業)

(1) 運動公園・ゆめの

- ① 「ダイニングゆめの」では運動公園を利用される団体客向けのテイクアウト弁当が好評で多くの注文を頂いた。また、新たに「カレーそば」と「満腹そば」をメニューに加え、「カレーそば」が一番人気であった。
- ② 売店販売においては、地域特産品を中心としたお土産や地元産野菜等を販売した。
- ③ 次年度に向け「ダイニングゆめの」の売上増を目指すため、キッズスペースの新設やスイーツの販売、食器類も一新し、3月30日にはリニューアルオープンの折り込みチラシを市内に入れた。

(2) 家族旅行村ビラデスト今津

- ① 「レストハウス赤坂平」では宿泊者をメインに一般メニューから会席料理まで幅広く提供した。また、「バーベキューの館」では日帰りの家族連れや大学生など多くの方が利用され賑わった。
- ② 「今こそ滋賀を旅しよう」による地域割引クーポンを多くの方が利用され、近江牛を使用した宿泊プランが好評だった。
- ③ コロナ禍でのキャンプ場利用者の増加に伴い、レンタルキャンプ用品や薪等の品揃えを増やして対応した。

(3) 箱館そば鳴野

- ① 本年度は比較的積雪が少なく行動しやすいこともあってか、前年度と比べ売上は87万円増の2,918万円、来店者数は1,112人上回る17,991人となった。
- ② 営業期間が新型コロナウイルス第8波と重なったが、感染防止対策を万全に行い無事に3ヶ月間の営業を終えることができた。